



◆経済対策と施策に関する要望を国土交通大臣に提案

8月21日に、一社住宅生産団体連合会の芳井会長および副会長3名が斉藤国土交通大臣を訪問し、経済対策と令和6年度施策に関する要望を提案しました。特にJBNの意見を反映していただいた項目は以下の3点です。

省エネ基準適合義務化の円滑施工に向けて

2025年4月より、建築確認特例の対象の縮小と、住宅・小規模建築物の省エネ基準適合の義務化が同時に施工される予定です。これを受けて、建築確認申請や省エネ適判審査などの申請業務が増加し、申請側と審査側それぞれに業務の増大が見込まれます。結果として、建築確認審査手続きの遅延の発生も懸念されています。そのため、審査内容の方法のさらなる合理化や、審査ルートの整備、審査側体制の準備、申請者側への注意喚起および啓発などについての万全の事前準備を要望しました。

地域型住宅グリーン化事業の継続・拡充

建設資材の高騰によるリスクを抱える中でも、地域における中小住宅生産者と関連事業等の連携による木造住宅の生産体制を強化し、ZEHなどの省エネ性能や耐久性などに優れた良質な住宅の整備を引き続き促進する必要があります。したがって、地域型住宅グリーン化事業を今後も継続するとともに、補助単価の引き上げ、省エネ計算外注費用の補助対象化などの拡充を要望しました。

大工技能者育成等の取り組みに対する支援の継続

良質な住宅ストックの整備および維持管理が将来にわたって継続的に行えるためには、若年者の住宅産業への参入を促して、必要な建築技術者を確保することが喫緊の課題です。しかし、これまで若年建築技術者育成の中核を担ってきた中小工務店が独力でこれを続けることは、コスト面で困難な状況にあるのも事実です。このことから、若年技術者の育成コストに見合っ

た補助単価の引き上げや補助方式の改善を要望しました。

その他の要望事項

1 経済対策要望

「こどもエコすまい支援事業」「先進的窓リノベ事業」「給湯省エネ事業」の各支援事業の予算の追加

2 住宅税制の抜本見直し

住宅税制の抜本的見直しに向けた検討の加速・本格化

3 良質な住宅を取得しやすい環境の維持

住宅ローン減税制度の借入限度額の維持や、新築住宅に係る固定資産税の減額措置の継続など

4 カーボンニュートラルの実現に向けて

ZEH補助制度や賃貸共同住宅に対する支援策の拡充。住宅の省エネ化の進捗状況が把握できるデータが公表される仕組みの整備の要望など

5 住宅ストックの有効活用の促進

既存住宅の改修に係る特例措置、既存住宅の改修補助制度、優良住宅化リフォーム推進事業などの継続・拡充を要望したほか、既存の認定長期優良住宅の取得に係る税制特例の創設、既存ストックの有効活用の観点からの建築基準法等の制度・運用に係る改善などを提案しました。

6 その他の政策テーマについて

花粉症対策に資する国産木材の利活用促進に向けた補助制度等の整備や、地方創生および居住ニーズ多様化への対応、改正石綿障害予防規則の円滑な推進のための改善などの項目を要望しました。

◆委員会報告

次世代の会 // 8月29日(火) 場所 広島県 参加者 14名

今年度第2回目の次世代の会では、広島県での視察研修会を行いました。まず初めに、地元の木で木質化をめざした、地元の工務店と職人でつくる広島建労会館新築工事の見学を行いました。広島建労会館は認定職業訓練施設であると同時に、県内建設従事者が加入する広島県建設労働組合の事務所でもあります。当初より建設施工について建労組合員の関心は強く、自分たちの手の跡が残せる会館づくりを目指していました。地元工務店と職人で建築することを目的に、会員内から設計監理者を選び、広島県工務店協会と協力して施工を行っている背景やポイントを説明いただきました。

中大規模木造委員会 // 9月8日(金) 13:30~16:00 場所 ビジョンセンター東京京橋 参加者 24名

一般社団法人中大規模木造プレカット技術協会(PWA)と共催で、概算積算システムセミナーを開催しました。

PWAの積算WGでは、中大規模木造建築物を対象として、計画段階の初期に大まかな木造の構造躯体を算出できる概算積算システムを開発しました。このシステムは、建物の用途・建設地の積雪条件・屋根の架構形式を仮定することで、おおよその木造躯体工事費を求めることができるものです。適用範囲は木造軸組工法であり、枠組壁工法やラーメン工法は対象外。階数は1~3階建てまで。事務所・店舗・戸建て

その後、株式会社大喜による断熱リフォームの古民家「暮らしLabo」を見学しました。暮らしLaboは、暮らし・健康・遊び・体感・体験を通して暮らし方を学ぶ場所であり、家づくりに使用する自然素材を見て触れることで、自然素材が持つ機能を肌で感じられる施設です。室内には、続き間の和室と縁側、薪ストーブ、LDKのモデルルームやシアタールームが設置されています。断熱・調湿・防音の効果がリアルにわかる体感ルーム、DIYコーナー、暮らしの雑貨ショップなどを見学しました。

住宅よりも規模が大きい中大規模木造建築物を対象としています。利用にあたっては、意匠計画や構造計画があることを前提に、積算条件を入力することで屋根・床・壁の仕様やスパンごとに大枠の概算コストを出すことができます。

本システムはセミナー参加者などからの意見により、さらに使いやすいものに改良した後で、一般公開される予定になっています。



◆セミナー開催報告（JBN正会員専用ページ内で動画配信をしています。）

令和5年度 工務店向け働き方改革セミナーシリーズ
第3回目「労務管理のQ&A採用から退職まで」

9月12日(火) 13:30~15:30 場所 ZOOMウェビナー

社会保険労務士法人アスミル 代表の特定社会保険労務士 櫻井好美先生による工務店向け働き方改革セミナーシリーズ第3回目を開催いたしました。本セミナーは地域工務店が取り組まなければならない「働き方改革」について3回連続で行っており、今回は「労務管理のQ&A採用から退職まで」と題して、地域工務店が採用から退職までに気を付けなくてはならないポイントや、労働時間や有給休暇の定め方などについて解説を行いました。

セミナーの初めに、採用に関して必要な書類、労働条件を明示した雇用契約書や身元保証書、入社誓約書について解説いただきました。労働条件の明示事項については、書面による明記と口頭の明示でもよい事項が分れています。労働契約の期間や始業・終業の時刻などは書面で、昇給や退職手当の詳細等については口頭での明示など、必要最低限の記載内容について説明いただきました。ほかにも、キャリアアップ助成金の紹介やハラスメント防止措置の義務化についての対応方法についてお話しいただき、労働環境の改善は働きやすい職場づくりであることをまとめとして、セミナーを終了しました。



関連事業者コラボセミナー

9月15日(金) 13:30~14:30 場所 オンライン 参加者 58名

JBN関連事業者会員である日本長期住宅メンテナンス有限責任事業組合と株式会社アンドパッドのご協力のもと「建築業界における課題と展望 住宅着工棟数激減をどう生き残るか?」のテーマでセミナーを開催しました。

今後20年間で半減するといわれている住宅着工棟数。自然淘汰の競争の中で、地域工務店はどんな準備をしていかなければならないのか?日本の戸建住宅の問題点と本来のあるべき姿、そして今後工務店が取るべき課題解決手法について、同組合の顧問である中林昌人氏に講演いただきました。

講演では、中古住宅の長期定期点検の重要性について述べ、欧米と日本の家に対する考え方の比較、大手ハウスメーカーのストック対応ビジネスの現状、国の中古住宅流通の政策を説明しました。日本の戸建住宅の80%を供給しているのは地域の工務店であり、アフターサポートの強化により長期的安定経営が実現できます。

その後、同組合の岡本氏からは、組合の概要紹介とアフター点検・メンテナンス工事の「おうちケア定期便」の紹介を。(株)アンドパッドの第1事業部第1部副部長の小山氏からは、おうちケア定期便のシステムと連携しているクラウド型建設プロジェクト管理サービス「ANDPAD」の紹介をいただきました。

連携団体紹介

Introduction of associated groups

群馬県木造住宅研究会は、高気密・高断熱住宅の研究を目的に1989年に設立されました。県の住宅課と住宅供給公社が設立を後押しした背景もあり、当初は県内の戸建て団地のモデルハウス建設などにも着手。1995年に協同組合となってからは、県の林業振興課とともに県産材の利用促進のためのセミナーを開催するなど、行政とも良好な関係を構築しています。

研究会として力を入れているのは、各種講習会やセミナーの実施。これまでに前述の県産材利用による補助金制度に関するセミナーのほか、前橋市の建設指導課および建築設計事務所協会と協力し耐震施工に関する講習会などを開催してきた実績があります。

また、2022年3月には全国木造建

時代を捉えた先進的な活動
SDGsへの取り組みも

(協組) 群馬県木造住宅研究会



川合進 理事長 野口道雄 副理事長

設事業協会(全木協)と災害協定を締結。同年11月には応急仮設住宅の施工講習会を開催し、「大工たちがうまく連携することで、初めてながらスムーズに進めることができた」(川合理事長)と一定の成果を挙げています。

川合さんと副理事長の野口さんのお話から感じられるのは、時代を捉えた熱量の高い活動を展開しているということ。設立目的でもある高気密・高断熱の研究は、当時は時代に先がけた動きであり、団体内で意見交換するだけでなく、会員で解決できないことはメーカー担当者を招いて指導を受けるなど意欲的な活動を展開してきました。

また、近年では研究会としてSDGsへの取り組みを宣言し、その一環として建設廃棄物に関するセミナーを開催。

処分方法の周知や、廃棄物を減らすための呼びかけを行っています。

住宅建築とともに産業廃棄物の処理なども手がける野口さんの知見を生かした取り組みですが、建築時のみならず住宅のライフサイクルを通じて持続可能な業界のあり方を模索しています。

新築の着工棟数が減少するなか、今後はリフォームや県内の空き家対策に注力したいと話す川合さん。また、現在8社の会員数を増加させることも目標です。活動の根底には、設立当時から変わらない会員社の熱意があることがうかがえます。

▶2022年11月に行われた応急仮設住宅の建て方講習会の様子。



工務店紹介

Introduction of construction companies

山口県防府市に本社を置く、1977年設立の株式会社銘建。2019年からは同じ山口県の株式会社安成工務店グループの一員となり、長年培ってきた優れたデザイン力によりグループ内では「デザイナーズハウス」を手がける企業として位置付けられています。

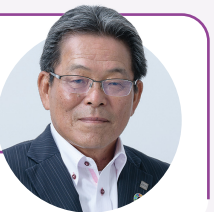
「山口県での暮らしを楽しむ家」と標榜するように、住宅だけでなく家具や小物を含めたライフスタイル全般の提案を強みとする同社。住宅展示場に併設されたカフェ「LisM Cafe & Lifestyle」はその象徴的な場であり、こだわりの食事と洗練された空間で着実にファンを増やしています。

「カフェに来るお客様は、銘建のターゲットとするライフスタイルにこだわり

ライフスタイルを含めた家づくりを提案
高いデザイン力で実績を重ねる

株式会社 銘建

福田 敦志 社長



のあるユーザー層と重なる」と代表の福田さん。カフェを通じて企業のスタンスをPRすることで、ユーザーが家づくりを考えた時に候補にもらえるよう認知度をアップさせるのが狙いです。また、2017年からは「無印良品の家」を県内で唯一提供。多い時は年間10棟以上を手がけるなど実績を重ねており、今後も成長を見込んでいます。

これからの目標は、デザイン力のさらなる強化による「企業のブランド化」。外部の設計事務所とのコラボレーションを通じてデザインに磨きをかけると同時に、現在はエクステリアにも力を入れ社内教育も充実させるなど、ユーザーに対してより豊かな住環境を提案したい考えです。

さらに今年7月には、地域の工務店7社とともに期間限定の住宅展示場をオープン。多くの来場者を獲得するなど成果を上げており、この秋にはJBNの視察予定もあるなど注目度の高い取り組みとなっています。

資材価格の高騰や、コロナ禍を経て集客の流れが変化したことにより工務店には厳しい状況が続く昨今。銘建の意欲的な姿勢は、企業力の向上や業界活性化といった面からも参考になる点が多いと感じられます。

▶ホームページやSNSにはライフスタイルがイメージしやすい施工例が多く並び、集客のメインツールとなっている。



◆令和6年度 全国会員交流会 in 愛媛開催のお知らせ

令和6年度 全国会員交流会 in 愛媛を右記の日程で開催することになりましたので、お知らせいたします。詳細につきましては、決まり次第ご案内いたします。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

開催日 2024年(令和6年)9月26日(木)、27日(金)

開催場所(予定) 【基調講演・分科会・展示会】 愛媛県県民文化会館

【懇親会】 ANAクラウンプラザホテル松山

セミナー開催のお知らせ（詳細やお申込み方法の確認はHPの開催案内をご覧ください。）

「改修版 自立循環型住宅への設計ガイドライン」講習会

IBECsの「改修版 自立循環型住宅への設計ガイドライン」を学ぶ講習会です。このガイドラインは、新築に比べて推計が難しい改修の「省エネルギー効果」について、改修前の建物性能のさまざまな確認方法を示し、エネルギー消費量についても用途分解の考え方や改修前後の削減効果の推計方法を提案しています。



また、実際の改修で多く行われている部分改修における区画熱損失係数や、設計段階で確認すべき内容とその方法を丁寧に取り上げ、改修実務者が省エネルギー改修住宅を設計して効果を推計する際に必要な内容を網羅しています。

省エネルギー改修リフォーム設計・施工を行う方は、ご自身の省エネ設計知識への不安や悩みの解消・スキルアップにぜひ受講ください。

【開催日】全3回

11月10日(金)「自立循環型住宅設計講習会 改修版」

12月 4日(月)「自立循環型住宅改修版 用途分解の解説」

12月11日(月)「エネルギー計算とライフサイクルコスト」

【時間】13:30～17:00

【開催場所】オンライン

【講師紹介】岐阜県立森林文化アカデミー 教授 辻充孝氏

【受講料】1名 7,000円(テキスト代・送料込)

【共催】一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター

第1回 JBN工務店視察研修会 ～山口県「五郷の杜」視察～

JBN会員工務店の中で、設計・営業・性能などが優れている工務店を視察して学ぶ研修会を開催します。

1回目となる今回の研修会は、山口県の地元工務店7社が共同運営する期間限定の住宅フェア「五郷の杜」を視察します。

山口県ビルダーズネットワークに加盟する7社が力を合わせた、各社の特色と技術力を活かした建物全7棟とその取り組みを学びます。

五郷の杜詳細二次元コード▶



【開催日】10月24日(火)

【時間】12:00～17:00

【定員】70名(※定員になり次第、締切になります。)

【対象】JBN会員

【参加費】無料(※集合場所までの交通費、宿泊費等は各自ご負担となります。)

見学に際し、手袋の持参と靴下の着用が必要になります。また、写真撮影について、外観は撮影可ですが、内観は撮影禁止となります。ご了承下さい。

第2回 JBN工務店視察研修会 ～熊本県「株式会社エバーフィールド」視察～

JBN会員工務店の中で設計・営業・性能などが優れている工務店を視察し、学ぶ視察研修会を開催します。

2回目となる今回の研修会は、熊本県の(株)エバーフィールドを視察します。大規模災害からの復旧・復興において住まいの再建の原動力となる木造建築産業の、さらなる活性化に努めている同社。近年減少傾向が顕著になっている大工の育成への取り組みを学ぶほか、技術力の向上を進めていくことを目的とした木材加工場やエバーフィールドの技術が詰まった打合せ棟を見学します。

【開催日】11月27日(月)

【時間】11:00～18:00

【定員】70名(※定員になり次第、締切になります。)

【対象】JBN会員

【参加費】無料(※集合場所までの交通費、宿泊費等は各自ご負担となります。)

視察先のエバーフィールド(上益城郡甲佐町府領892)へ直接向かうことも可能です。※ただし駐車場は30台までです。

刊行物のご案内（刊行物のお申込みはJBNホームページをご覧ください。）



マナーアップハンドブック 【工事現場編】

手帳サイズ 32ページ

挨拶の基本から現場近隣への挨拶まわり、車の止め方、身だしなみ、言葉づかいなど現場マナーの基本をご紹介します。



中大規模施工施工管理マニュアル&講習会アーカイブ動画の紹介

A4版 87ページ

(正会員専用ページの動画アーカイブにて動画および資料がご覧になれます。)

JBNは国土交通省令和3年度環境・ストック活用推進事業の支援により、木造住宅を中心に事業展開する大工・工務店が新たに非住宅木造建築の分野に参入することを想定した、地域工務店向けの「中大規模木造建築物の施工管理マニュアル」を作成しております。PWAで整備されている「構造木工事監理マニュアル」と併せて利用することにより、非住宅建築に求められる安全で高品質な木造建築物が我々の手で確実に施工されることを期待しています。

JBNはさまざまなご相談(技術、法律、支援等)をお受けしております。

ホームページ(トップページの最下欄)のお問合せフォームをご利用いただくか、下記へお問合せください。



【発行・お問合せ】

一般社団法人JBN・全国工務店協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館6階

Tel.03-5540-6678 Fax.03-5540-6679 E-Mail:jbn@jbn-support.jp URL:https://www.jbn-support.jp